

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院眼科に、緑内障治療で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学眼科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

ブリモニジン酒石酸塩・布林ゾラミド併用使用から配合点眼薬へ変更後の眼圧変化

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 眼科講師 高田 幸尚

#### 3. 研究の目的

緑内障治療においてどの時期であっても点眼薬治療が主となる。目標とする眼圧を達成するために複数の点眼薬治療を要することもあるが、点眼薬数が増加すると点眼するのを忘れやすくなると言われている。2010年4月から2つの緑内障点眼薬の成分が1本になった配合点眼薬が販売開始となった。β遮断薬の含まれる配合点眼薬のみの販売であったが、2020年6月にβ遮断薬を含有しないブリモニジン酒石酸塩・布林ゾラミド配合点眼薬（アイラミド<sup>®</sup>、千寿製薬）が販売された。β遮断薬は循環器・呼吸器の疾患のある方では使用できないことも多い。そのような背景を考慮して、β遮断薬を使用できない患者にも使用可能であるアイラミドの眼圧下降効果の検証は重要と考え、ブリモニジン酒石酸塩・布林ゾラミドの併用使用から配合点眼薬のアイラミドへ変更した際の眼圧下降効果の変化を検討する。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

和歌山県立医科大学附属病院眼科の患者さんで、2020年9月1日から2021年6月30日までの期間に、ブリモニジン酒石酸塩・布林ゾラミド併用使用から配合点眼薬へ変更した方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、基本情報、点眼変更前後の眼圧、併用している緑内障点眼薬、点眼変更前の視力・視野に関する情報です。

##### (3) 方法

- ・ブリモニジン酒石酸塩と布林ゾラミドの併用使用から配合点眼薬へ変更前後の眼圧変化を比較検討する。
- ・ブリモニジン酒石酸塩と布林ゾラミドの併用使用から配合点眼薬へ変更により眼圧下降の有無で2群に分けて、性別、年齢、緑内障点眼薬スコア、点眼薬変更前の視力・視野について比較検討する。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

和歌山県和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院眼科 担当医師 高田幸尚

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-448-1991

E-mail : ytakada@wakayama-med.ac.jp